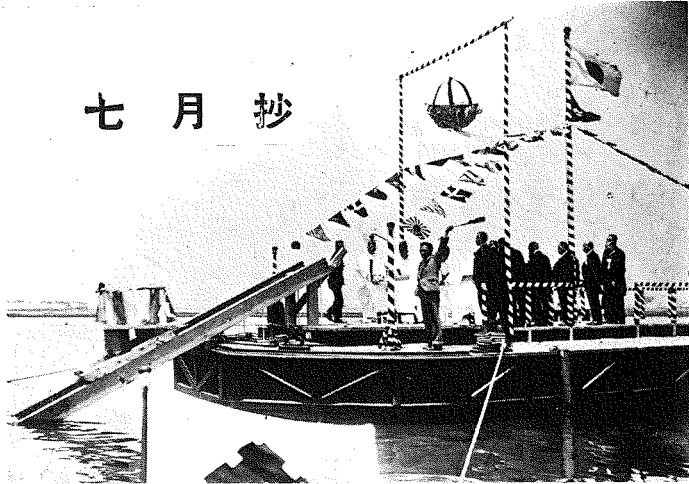


七月抄



大阪北港修築工事起工式

近き将来に於ける大阪港発展の鍵を握る大阪北港の修築工事は、此程愈々住友をバックとする大阪北港株式會社の手に依つて起工の運びとなつた。

五月十五日工事現場に於て盛大なる起工の式典が舉行せられ、内務大臣代理唐澤土木局長、大藏大臣代理管野大阪税關長、縣大阪府知事、關大阪市長、安宅大阪商工會議所副會頭、松波港灣協會副會長等凡そ壹千名の朝野名士が列席した。

當日は朝來爽やかなる五月晴れで、式後同場内で祝宴が催され、續いて有志は豫め用意せられた小蒸汽船に分乘して港内を視察した。(カットは當日防波堤基石沈奠)

土木學會春の見學

鐵道省の信濃川發電工事は多年懸案の大工事であるだけに、起工以來各方面から多大の注目を拂つてゐるものである。本誌に於ても一昨年以來報道のトップを切つてをるが、今回土木學會の視察旅行を同地に催さるゝや記者も之に参加し會員百餘名と俱に六月九日夜十一時半上野驛發新瀉急行の列車に乗つた。

鐵道當局では土木學會の爲に特に二等車及寢臺車を一輛宛増結して便宜を與へた、何し

る今回は破天荒のスピード視察で、今晚出發して明晩はすでに歸途に就くのであるから、老先輩の参加は少く、例年に比べて若手會員の方が多様であつた。

それでも前會長の一人として眞田博士と前副會長の眞島博士、大河戸博士などが見られ、現會長久保田博士は見えなかつたが、副會長草間博士、米元晋一氏、其他帝大方面からは田中博士、福田博士其他、民間方面では神原博士、茂底博士其他があり、特に東京市水道局からは課長小野氏の外に多數の技師が参加した、鐵道省方面では古川計畫課長、永田技術課長其他、地元の川口驛から参加せる信濃川電氣事務所の長屋所長を始め、堰堤工事擔任の渡邊技師、隧道工事擔任の三好技師其他、長岡建設事務所の高井所長其他も見えた。

東京府の琴浦橋

東京府では目下多摩川の上流氷川村で二鉸式ブレースド、リブ、アーチ橋を工事中である。橋は翠巒碧水に圍まれた絶景奥多摩溪谷に虹の如く懸る。有効幅員4m5、橋長80m4、拱徑間60mにして總工費50,000圓である。目下下部工事及鐵部架設工事完了し上部工事準備中で今年盛夏7月に竣工の豫定である。

(東京府橋梁課岩崎)